

神戸市外大だより

Kobe City University of Foreign Studies News Letter

Contents

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 02 JUEMUN 特集 | 06 活躍する学生たち |
| 03 G 20 ユースサミット | 07 News&Topics/ 職員コラム |
| 04 留学体験談 | 08 ボランティアコーナー Topics |
| 05 OB・OG からの報告 | 09 お知らせ |
| | 10 夏季休暇に向けて |



JUEMUN 参加者全員で

JUEMUN 2019 開催

6月21日(金曜)～23(日曜)にかけての3日間、本学でJUEMUN2019(日本大学英語模擬国連大会)を開催しました。大会には19の国と地域から23大学、178人の学生が参加しました。詳しくはp2-3へ。



事務総長と事務総長補佐



JUEMUN 実行委員会



閉会式の様子



JUEMUN 2019 開催

Japan
University
English
Model
United
Nations

6.21 ~ 23



JUEMUNとは

JUEMUN (ジュエムン) は、「Japan University English Model United Nations (日本大学英語模擬国連大会)」の略称で、英語による大学生を対象とした模擬国連大会です。2010年にJALT (全国語学教育学会) 主催により名古屋市で初回大会が開催され、10回目となる2019年大会は本学で開催しました。

高度な英語運用能力を必要とし、「国際交渉力」「国際協調能力」が養われるイベントです。

JUEMUN2019を振り返って



事務総長 国際関係学科4年

■■■■さん

第10回目のJUEMUNを無事に開催することができ、心から嬉しく思うと共に、事務総長としての日々も終わってしまったのかと少し寂しくも感じております。私は昨年のJUEMUNに外交官役で参加しました。準備の中でリサーチ力や交渉力を鍛えることで、その後留学した際も模擬国連での学びが直接繋がる瞬間を経験しました。「来年は後輩たちのためにより良い大会を運営したい」という使命感を強くした

のはこのためです。準備期間中は大変なこともありましたが、先生方、事務局の皆さま、議長団、学生実行委員会、ボランティア等、関わってくださった全ての方のおかげで、今年も外交官役の皆さんがやりきった笑顔で「参加できてよかった」と話してくれる姿を見ることができました。本当にありがとうございました。



事務総長補佐
国際関係学科3年

■■■■さん

3回目の参加となる今回は、外交団側でなく、初めて運営側に回って参加した感慨深いJUEMUNでした。外交団側とは全く違う視点で模擬国連を見ることができ、今まで気づけなかった大会

運営の大変さやボランティアの皆さんの助けのありがたみを深く感じました。模擬国連大会に参加するたび異なる学びを得るのですが、今回は特に組織として動くためにどう指示を出すべきかを、身をもって知ることができました。

Meeting 1 議長

国際関係学科2年 ■■■■さん

準備段階である授業や本番の会議中で外交官役の参加者が国際問題解決に向かって熱心に取り組む姿に感動しました。自国以外の国を徹底的にリサーチし、外交官として相応しい振舞いをしながら交渉に挑むことは容易ではありませんが、議長として外交官役の皆さんの成長を見届けられ、とても光栄です。

Meeting 2 議長

国際関係学科3年 ■■■■さん

今回初めて議長としてJUEMUNに参加させていただき、一番印象に残ったことは自分の成果以上に本学からの参加者の成長でした。ICCの授業開始当初は、発言すること自体に戸惑いや不安を隠せなかった参加者の皆さんが、会議本番では堂々と他大学の外交官役との交渉に励み、リーダーシップを発揮する様子を見て非常に感動しました。その様な輝かしい成長に、授業を含め、様々なサポートを通して関わったことを光栄に思います。

Meeting 3 議長

国際関係学科2年 ■■■■さん

私は去年JUEMUNに1回、NMUN (模擬国連世界大会) に1回外交官役で参加しましたが、議長になるにあたっての模擬国連の経験や知識については自信がありませんでした。しかし、Meeting 1と2の議長が尊敬する模擬国連の先輩でしたので、本当に頼りになりました。素晴らしい学生実行委員会の皆さんにも心から感謝しています。



指学長、山口副学長、基調講演講師・ILO駐日代表田口晶子氏を囲んで



ルール説明

JUEMUNの議事はすべて英語で進行します。参加学生は「各国外交団／議長・議長補佐」として、予め設定されたテーマに沿い、3日間の討議で決議案の採択を目指します。

今回のテーマは、「雇用の促進と人々の保護 (Promoting Jobs and Protecting People)」で、「児童労働の完全撤廃 (Ending Child Labour in all its Forms)」「機会と待遇における平等の実現 (To Realize Equality of Opportunity and Treatment)」「労働権利保護と安全かつ安定した労働環境の推進 (To Protect Labour Rights and Promote Safe and Secure Working Environments)」の3つの委員会が設けられました。



プラカードで賛否の表明をする外交官役

スケジュール

6月21日(金曜)

10:15 開会式
10:45 田口晶子氏 (ILO駐日代表) 基調講演
13:00～18:00 セッション1

6月22日(土曜)

9:00～12:00 セッション2
13:00～17:30 セッション3
18:30～20:00 セッション4

6月23日(日曜)

9:00～12:00 セッション5
13:00～16:00 セッション6
16:30 閉会式



次回開催校(京都外大)への木植の譲渡



田口 晶子氏 (ILO駐日代表) の基調講演



グループに分かれての会議の様子

事務総長補佐の [] さんを中心に高校生ツアーも開催

事前に応募があった高校を対象に、大会の様子を見学できる高校生ツアーも開催しました。まず、事務総長補佐である国際関係学科3年の [] さんが「模擬国連」のルールについて説明し、その後実際の会議を見学させるという内容でした。以下このツアーを担当した [] さんの感想です。

今年の高校生ツアーは、野村和宏先生(英米学科)や事務局の皆様のお陰で、過去最大規模の、合計180人を超える高校生・教員の皆さんが参加して下さいました。各回、模擬国連に関する簡単なプレゼンテーションを行った後45分ほど各議場へご案内し、実際に議場で飛び交う議論や交渉の臨場感を体験していただきました。高校生の皆さんが熱心に話に聞き入っている様子や積極的に質問をしてくれる姿を見て、少しでも神戸市外大や模擬国連に興味を持ってくれたかなと感じています。次回もたくさんの高校からの参加を期待しています。
(国際関係学科3年 [])



18校158人の高校生が参加

同日開催 G20 ユースサミットが神戸市外国語大学で初開催

Japan Youth Platform for Sustainability (JYPS) によって企画、運営されたG20ユースサミットが、6月22日(土曜)・23日(日曜)の2日間、神戸市外国語大学で開催されました。イベント両日で、合計200人の若者の参加者と71の団体が集まり、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、若者として何ができるのかをともに学ぶことができるワークショップや、ポスターセッション、分科会が行われました。

1日目は「若者SDGs市・文化変革とパートナーシップ」と題し、30以上の団体がブースを出展。ワークショップやポスターセッション、物販等を通じて若者団体が参加者に対して活動を紹介しながらSDGs達成に向けた取り組みが実施されました。2日目は「ハイレベル会合」と題して、有識者による基調講演とパネルディスカッションを通じて、今後の若者のあり方とSDGs達成に向けての取り組みの動向についての意見交換が行われました。その後の分科会では12のテーマに分かれてワークショップが行われ、テーマの中には、気候変動問題や女性問題を扱うものだけでなく、地方創生とまちづくりや資源の使用と経済、未来の仕事など多分野のテーマが設定され、参加者にとっては多方面からSDGsを考えるきっかけになったと同時に、登壇していたメンバーもユニークな視点を持った参加者の意見を楽しむことができました。



イベントを終えて

運営に携わった本学国際関係学科4年 [] さん

今年の2月から本イベント開催に向けて準備を進めて当日を終えた今、これまでの4ヶ月間がまるで夢のように早く過ぎていったと感じています。

最初は、主催者の方から連絡をいただき、本イベントを外大で開催するために1人で動いていましたが、様々な方に話すうち、支援の輪が広がっていき、学内外から色々なサポートをして頂きました。将来的には、今回のように若者が集まり世界の今後を考えることができるイベントを外大で主催できるようにできればいいと思っております。イベント開催にあたり支えてくださった全てのみなさまとご来場してくださったゲストの方や外大生にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。



留学体験談

カナダのレジャイナ大学に留学した、国際関係学科4年（留学時3年）のさんの報告です。



こちらが
さん

ハロウィンでは友達と KISS のコスプレをしました。いろいろな衣装を見ることができて楽しかったです。

留学先機関名：レジャイナ大学

留学期間：2018年9月～2019年4月（8ヶ月間）

選んだ理由

英語圏の大学で秋出発希望だったのでアメリカ、カナダ、イギリスのどこかにしようとしたのですが、カナダが一番どういう国なのかイメージがなかったため実際に自分で学んでみたいと思いカナダを選びました。その中で今までの留学報告書を読み、環境や雰囲気により自分に合っていると感じたレジャイナを選びました。

良かった点

大学でも街中でも親切で温かい人が多く、みんな口をそろえてレジャイナのいいところは「人」だと言います。なにか困っていきそうだったら助けてくれるし、お店の店員さんもフレンドリーな方が多いです。また、留学生が多く、彼らほとんどもフレンドリーなので友達を作るのにはいいと思います。痛いぐらいに寒いですが、あまりに寒すぎるのも話のネタになるので、その点もいいところかもしれません。



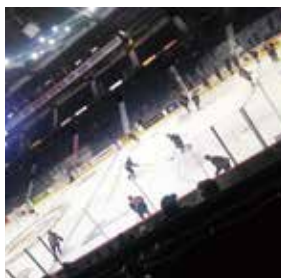
懇親会をかねた遠足でマシュマロを焼いたりしながらいろいろな人と話すことができました。



カナダ料理のフーデインです。フライドポテトにグレイビーソースとチーズをたっぷりかけた、ファーストフードのような料理です。とても高カロリーな食べ物です。

オススメ授業

Simon 先生の International Studies の授業です。課題もテストも本当に大変だったのですが、その分深く学ぶことができました。私は初めての2、3回分の授業であまり聞き取ることができず不安に思ったので、直接相談しに行きました。すると、授業で先生が使っているメモを送っていただけのことになりました。また、分からないところがあれば何度でも説明してくださいました。



アイスホッケー観戦。カナダのメジャースポーツです。



日本人学生で協力して留学生の友達に手巻き寿司を作りました。どうやって食べるのかを説明しています。



春になって暖かくなったので大学の芝生でピクニック。

留学したからこそ体験できたこと

日本についてあまり知らない人に出会い、日本について説明したことです。今まで私が日本で知り合った他国出身の人はほとんどみんな日本に興味がある人だったので、そうでないのは少し新鮮でした。また、韓国料理やメキシコ料理、韓国語やスペイン語をネイティブの人から学び、体験するのは面白かったです。友達がいるとそれだけで興味が出てくるので、今ではさらに勉強したいという思いが大きいです。



年越しはレジャイナから直行便が出ているラスベガスで過ごしました。



韓国人の友達がトッポギを作ってふるまってくれました。

便利だった持ち物

服は厚手のものだけでなく、薄手のものもあったほうが良いと思います。

秋の初めのほうの日中はまだまだ暑く、4月の終わりごろも日が出ると結構暑くなります。あとは、数食分のインスタントのご飯や食器があってもいいかもしれません。フリーフードはたくさんありましたが、毎食ではないし、買い物にいつ行けるかわからないのであるといいと思います。

真冬のコートは現地で購入しました。私は中古品を売っているお店でダウンジャケットを購入し、長袖などの重ね着、手袋、マフラー、帽子で冬を乗り切りました。厚めのダウンジャケットを着ている人が多かったように思います。

夢・目標

日本国内では、外国人から見る日本はすごい！というイメージですが、実際は日本が何語を話しているのかも知られていないぐらい、ぼんやりとしたイメージを持たれていることがわかりました。そういう日本のイメージを少しでも変えたいので、いずれは日本について発信していくようなことができればいいなと思っています。



ダウンタウンに設置されたスケート場でアイススケートに挑戦しました。



全ての授業が終わり、Certification をもらった後のお疲れお菓子パーティーです。

OB・OGからの報告

本学在学中にさまざまな経験をした卒業生は、社会の第一線で活躍しています。在学生に将来を考える一助となるようOB・OGの方に近況を報告していただいています。今回は、株式会社 日立製作所でご活躍されている卒業生を紹介します。

氏名：[] さん
 卒業年度：2016年3月
 学科：ロシア
 企業名：株式会社 日立製作所
 部署名：関西支社 医薬システム営業部
 入社年数：3年
 仕事内容：製薬企業向けのIT・デジタルソリューション、ソフトウェア、ハードウェア等の営業活動



オフィス内での様子

■現在の状況

私は国内の製薬企業向けに営業活動をしています。主な業務は、薬の研究から販売までの各工程を自動化するシステムや、お客様の社内業務効率化を実現するソリューションの提案（＝課題解決）です。どの技術・製品をどのように応用し組み合わせられるのか、お客様の課題に合わせたソリューションを考えます。日頃から、デジタル技術やお客様業務についての勉強と、課題を知るためにもお客様とのコミュニケーションが欠かせません。



■社会人になって感じたこと

学生の時は時間が永遠にあるように感じられましたが、社会人は多忙で1日、1年が一瞬で過ぎ去る感じがします。基本的なことですが、スケジュール管理と体調管理が大切です。それでも仕事はやりがいがあり、毎日充実しています。

■大学生活を振り返って

語学関係のみでなく、もっと幅広い分野（特に経済や社会）について勉強しておくべきだったと後悔しています。一方で、留学や長期旅行は社会人ではなかなかできないので、経験しておいてよかったと思います。



■就職活動時の印象に残った出来事

就活に絶望的だった時、偶然キャリアサポートセンターから日立の募集案内が届きました。志望業界ではなかったのですが、応募したところ、あっという間に内定を頂きました。就活は縁と言いますが、本当に縁を実感しました。

■ある日のスケジュール

8:50	始業、メールチェック	フレックス勤務で9:30出社のこともあり
9:30	グループミーティング	各担当顧客の主要案件の活動報告（案件共有）、イベント確認、事務連絡など
10:30	部主催の顧客向けイベントミーティング	上期・下期毎に2度ある顧客イベントの運営事務局のTODO確認、開催内容プレスト、スケジュール調整など
11:40	ランチ	周辺ビルに企業が多くレストランや食堂、エレベーターが混むので早めに部内の人たちとランチに行きます。私の部は厳しくないでランチの時間・長さは日によってばらばらです
13:00	メール返信、電話、事務処理	ミーティングが多いと、デスクワークが溜まりがち
14:00	移動	顧客先は事務所から徒歩25分
14:30	顧客先で打ち合わせ	新規システム構築・既存システム改修の要件確認の打ち合わせが多い
15:30	移動	徒歩25分（急ぎの場合はタクシー10分）
16:00	社内ミーティング	案件獲得のための戦略・アクションに関する方針の打ち合わせが最近が多い
17:00	メール返信、電話、事務処理	デスクワークまたは社内ミーティング。事務所に戻ると案件について社内の人に話しかけられることが多いのでやっぱりデスクワークが溜まりがち
19:30	退社	17:30～22:00と日によってばらばら飲み会は少ないほうだと思います

■後輩へのエール

私は当時志望していなかった仕事に就きましたが、今は充実した社会人生活を送っています。就活は人生を左右するので、あまりこだわりを持たず、幅広く情報収集して自分に合った仕事を見つけて下さい！

■会社の紹介

日立はAI（人工知能）・ビッグデータ分析といったデジタル技術（IT）と、制御・運用技術（OT：Operational Technology）やプロダクトを有しており、これらを掛け合わせて世界中にデジタルソリューションを提供しています。「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という理念のもと、幅広い事業活動を強みに、お客様や社会の課題解決に貢献し、人々の豊かな暮らしの実現を目指しています。

目的意識を持ってインターンシップに参加しよう

インターンシップでの経験が、就職活動の際に役立つことが多々あります。インターンシップに参加する際は、目標を持ち、成果を意識しながら活動しましょう。では、具体的にどんな目標を設定すればいいのでしょうか？設定したい目標内容を見てみましょう。

①：確実にスキル・能力・ビジネスマナーを身につける

インターンシップは、実際に企業で社員と同じような仕事を行い、その会社の「実務」に関わります。つまり、社会人としての実践経験が積める貴重な機会です。

責任や仕事量は大きいですが、スキルアップを目指し、社会人としてのマナーを学ぶ上では最適な環境です。このような機会に、ご自身に足りていないものを見つけ、就職活動本番に備えておきましょう。

②：仕事を通して会社を経験する

インターンシップ期間中は、とにかく仕事の経験を積むことが大事です。

インターンシップ中に積んだその経験が、採用面接では内

定を左右するくらい大事なものになります。そのような経験に基づいた志望動機などを組み立てられれば、面接などでも好印象になりますので、是非ご自身の中で、経験を積むことを意識してインターンシップに取り組んでいきましょう。

③：自分の弱いところを克服し乗り越える

インターンシップ期間中、仕事を通して必ずといっていいほど、壁にぶつかると思います。その壁こそが自分のウィークポイント（弱み）になり、今のご自身の課題になる訳です。

そういった壁が自分の前に立ちただかっただけで、その場から目を背けるのではなく、確実に克服し乗り越えていくのだ、というくらいの気概を持ち、インターンシップに参加しましょう。



学生の活動報告

(学年は当時)

本学ロシア学科学生が、色丹島のイベントで通訳を行いました

北方領土問題対策協会が主催する「北方四島交流訪問事業」(いわゆるビザなし交流)の一環で、6月8日(土曜)、色丹島で「第4回アニメ・オタク文化青年サミット」が開催されました。

このイベントに神戸学院大学の岡部芳彦教授が率いる同大学訪問団の通訳として、本学からロシア学科4年の[]さんが参加し、コスプレしてイベントの司会も行うなど、島民と交流を深めました。

またこの様子は北海道のTV局や読売テレビのニュースなどでも取り上げられました。



イベントにて(中央:[]さん)▶

本学学生が「ホノルル市長杯第49回全日本青少年英語弁論大会」で3等受賞

6月16日(日曜)、グランフロント大阪北館4階 ナレッジシアターで、「ホノルル市長杯第49回全日本青少年英語弁論大会」が開催され、第2部英米学科4年の[]さんが3等を受賞しました。

この大会は、日本と世界が直面する諸問題を検討し、打開策を考える機会を青少年に提供し、語学力の向上を促進し、世界平和の実現に寄与することを目的に開催されています。

今回は地方予選を勝ち抜いた8人が参加し、「日本のあり方と未来—An Ideal Future For Japan—」をテーマに白熱した弁論が繰り広げられ、[]さんは3等という素晴らしい成績を修めました。



日本語プログラム(JLP) 鳥取県へのフィールドトリップを実施

5月16日(木曜)に日本語プログラム(JLP)のフィールドトリップで鳥取県を訪れました。天気に恵まれた今回は、18人の留学生が参加し、鳥取砂丘、砂の美術館、浦富海岸の3カ所を訪問しました。

参加した留学生は、砂丘の「馬の背」から日本海に向かって駆け下りたり、砂遊びをしたりと、砂浜で思い思いの時間を過ごしました。

午後は、世界で唯一砂像彫刻を専門とする「砂の美術館」を見学した後、浦富海岸で遊覧船から鳥取の美しい自然を満喫しました。



2019年度オープンキャンパスに向けてスタッフが奮闘中

今年も8月4日(日曜)・8月18日(日曜)の両日、オープンキャンパスを開催します。オープンキャンパススタッフの学生約50人がオープンキャンパスに向けて、キャンパスツアーやウェルカムダンス、司会の練習など日々頑張っています。



News & Topics

朝日新聞社、朝日新聞出版等とコラボレーション企画実施中！

朝日新聞社の『国立大学進学のおすすめ』という企画で本学を取材していただき、7月12日付の朝刊や、朝日新聞デジタルに本学の模擬国連や、ボランティア活動などについての記事が掲載されました。

また、この秋発売予定の『国立大学 by AERA 2020』（朝日新聞出版）でも本学のことが紹介されますので、ぜひご覧ください。

THE世界大学ランキング日本版で6位に

英国の教育専門誌『タイムズ・ハイヤー・エデュケーション』（THE）の日本国内の大学の「教育力」を測って順位づけした「THE世界大学ランキング日本版2019」がこの度公表され、分野別のランキングも発表されました。

本学は国際性の分野で6位にランクイン。この分野は、(1) 学生に占める外国人の比率 (2) 教員に占める外国人の比率 (3) 日本人学生の留学比率 (4) 外国語で行われている講座（授業）の比率を点数化して順位付けされるもので、本学学生の活発な留学や外国語での授業などが評価されました。

シネマ de バトルを開催

6月27日（木曜）、「シネマ de バトル 見たい映画1位を決める！—スペイン語圏映画編—」を開催しました。集まった4人の発表者はイスパニア学科教員、ラーニングアドバイザーの大学院生たち、図書館職員で、紹介された映画は『人生スイッチ』『ブエノスアイレス恋愛事情』『オール・アバウト・マイ・マザー』『インビジブル・ゲスト 悪魔の証明』。最多票を獲得しチャンプ映画に輝いたのは…『インビジブル・ゲスト 悪魔の証明』でした！
全て図書館内の視聴覚ブースで見られますので是非どうぞ♪



節電パトロールを実施

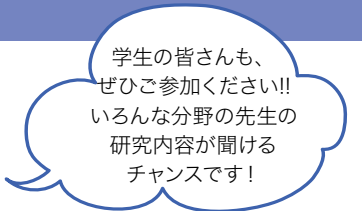
本学では、神戸環境マネジメントシステム（KEMS）認証を受け、日頃より電力使用量の削減に努めています。今年度も節電対策の一環として、7月1日（月曜）～5日（金曜）にかけて、学生と職員がペアとなり学舎・第2学舎の消灯、冷房オフ徹底の呼びかけなど、節電パトロールを行いました。

〈今回のパトロールを行って〉

本学では教室内での飲食は禁止していますが、1週間で約50人の学生が昼休み中に照明や空調をつけたまま教室で昼食をとっていました。飲食の際は、食堂やスチューデント commons を利用し、電力の効率的な運用にご協力ください。今回の節電パトロールにご協力くださった学生の皆様、ありがとうございました。

コモンストーク開催

コモンス・トークとは、教職員と学生の区別なく、ひとつのテーマについて自由に議論するイベントです。コーディネーターの先生からの問題提起をもとに、研究分野の違う教職員や学生による意見交換により、これまでにない相互研鑽と情報共有の場となっています。



学生の皆さんも、ぜひご参加ください!!
いろんな分野の先生の研究内容が聞けるチャンスです!



2019年度スケジュール

第1回 6月12日（水曜） 〈終了〉	「何語で書くのか——執筆言語をめぐる制約と戦略」 コーディネーター：穂原 三佳 講師（イスパニア学科）
第2回 7月3日（水曜） 〈終了〉	「移民社会と共同性—フランスの視点から—」 コーディネーター：太田 悠介 准教授（総合文化コース）
第3回 7月24日（水曜） 〈終了〉	「本を出版する～状況と実践～」 コーディネーター：指 昭博 学長（総合文化コース）
第4回 10月23日（水曜）	コーディネーター：大西 寿明 准教授（英米学科）
第5回 12月4日（水曜）	コーディネーター：Franklin CHANG 准教授（英米学科）

日々云々 (ひびうんぬん)

職場ではなかなか言えない!?
外大職員のおつやきをお届けします。

ボランティアコーナーを運営する中でひそかに願うのは、どんな学生さんものけ者にしない、切り捨てない場でありたい、ということです。意見が合わない、波長が合わない、ぎくしゃくしちゃう…そんな人も当然いるのが社会。お互いが少しずつ折り合いをつけながら、いつかボラコが誰にとっても帰ってきたくる場になればいいなと思っています。



地域で活躍！外大生ボランティア



笑顔と語学力で
「ようこそ神戸へ！」



6月9日(日曜)～13日(木曜)神戸コンベンションセンターで第13回国際リハビリテーション医学会世界会議が開催され、世界各国から2500人を超える参加者が集いました。これに伴い、6月9日、10日の2日間で5人の学生ボランティアが神戸国際展示場に設けられた特設ブースで、外国人の会議参加者へ神戸の観光案内や交通案内を行いました。



2部英米学科3年 新福 莉沙



自分の言葉で伝える難しさ、人と人で触れ合う喜び、今回のボランティアを通して、機械に頼らない人間同士のコミュニケーションの重要性を改めて感じました。また機会があったら参加したいです。

国際関係学科4年 山根 菖香

観光ブースを来られた方は、一人一人訪れたい場所や気になることが異なっている印象がありました。私自身が行ったことのない場所の説明やお勧めを聞かれると少し難しかったです。1日を通して少しでも神戸の魅力を伝えたい、海外から来られた方に少しでも楽しんでもらいたい、という思いで活動しました。

ボランティア参加者の感想

藤本 向 敬称略

ロシア学科4年 富永 結美

対応させて頂いた方から笑顔でありがとうと言われた事はとてもやりがいに繋がりましたし、外国の方が日本のどんどこころに興味を持っているか知ることのできる貴重な機会でした。これから語学力を磨いていこうというモチベーションにもなりました。

国際関係学科2年 辻田 創



語学力をアウトプットできる場を求めています。英語が使って学会の人とも会話できるということで応募しました。神戸を中心とした観光地のパンフレットを見ながら、外国の方(アジアからアフリカ、ヨーロッパまで)におすすめの場所やおいしいお店を紹介しました。クラスメートと一緒に英語を使ったコミュニケーションをとることができ、とても満足です。



元気な夏のお花で、お出迎え



入梅直前の6月末、学生ボランティア19名と職員が外大正面から研究棟に続くアプローチに夏の花を植えました。

盛夏の陽射しにも負けず、オープンキャンパスでは色とりどりの元気な花が受験生を温かく迎えてくれるよう願っています！

**■授業関係**

★成績発表・成績問い合わせ

前期成績発表 9月18日(水曜)～12月27日(金曜)まで
(学内パソコンでGAIDAI PASSにて閲覧可能)

前期成績問い合わせ 9月18日(水曜)～20日(金曜)

成績発表、成績問い合わせに関する詳細は、本部棟前掲示板およびGAIDAI PASSにてお知らせしています。

★後期履修登録

9月20日(金曜)～9月30日(月曜)

■教務関係★国際コミュニケーションコース (ICC) 説明会開催について
(学部1年生対象)

日時: 11月上旬(決定次第、GAIDAI PASS等でお知らせします。)

対象: 学部1年生

* ICC 希望者は必ず参加してください。

夏季休業中の施設開閉室時間

夏季休業期間は8月3日(土曜)～9月19日(木曜)です。

8月23日(金曜)・9月6日(金曜)は大学指定休日です。

<学生支援・教育グループ>

□集中講義・補講期間(8月5日(月曜)～16日(金曜)・9月9日(月曜)～19日(木曜)): 通常どおり開室

□8月19日(月曜)～22日(木曜)の期間: 8時30分～17時

□上記以外の夏季休業期間: 月・水・金は8時30分～19時/火・木は8時30分～17時

<キャリアサポートセンター>

□8月13日(火曜)～9月13日(金曜)の期間: 8時30分～17時

□上記以外の夏季休業期間: 8時30分～19時30分

<学生相談室>

夏季休業期間中は、水曜日以外の開室です。

相談の時間帯は11時～16時45分までの6枠です。

<学生会館>

夏季休業期間中の学生会館事務室・施設の利用時間は以下のとおりです。
施設利用時は学生会館事務室の閉室までに鍵を返却してください。

該当期間		学生会館事務室	学生会館施設	室外体育施設	室内体育施設	
平日	集中講義・補講期間 (8月5日～16日・ 9月9日～19日)	9時～20時	9時～ 19時30分	9時～日没	9時～ 19時30分	
	8月19日～22日 の期間	9時～17時	9時～ 16時30分	9時～ 16時30分	9時～ 16時30分	
	上記以外の 夏季休業 期間	月・水・金	9時～20時	9時～ 19時30分	9時～日没	9時～ 19時30分
			火・木	9時～17時	9時～ 16時30分	9時～ 16時30分
土・日・祝 ※特に事由があり事前に 使用許可を受けた 場合に限りです。		9時～19時	9時～ 18時30分	9時～18時	9時～18時	

学生 コン ピ ユ ー タ 室	8月5日(月曜)～8月16日(金曜): 8時40分～21時
	9月2日(月曜)～9月5日(木曜): 8時40分～16時30分
	9月9日(月曜)～9月20日(金曜): 8時40分～21時
	9月24日(火曜): 12時～21時
	9月25日(水曜)以降は8時40分～21時
	土曜・日曜・祝日・大学指定休日は終日閉室です。
	※8月19日(月曜)～8月30日(金曜)は、システム更新作業のため 学内の共用コンピュータが利用できません。また、システム更新にあたり 利用者自身で行っていただく作業があります。具体的な情報については GAIDAI PASSにて案内しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

■本学教員の出版物紹介

種別	著者	書名	出版年月	出版社
単著	山之内克子 (総合文化コー ス教授)	物語オーストリアの歴史: 中欧「いにしへの大國」の千年	2019年 6月	中央公論 新社
単著	松永京子 (英米学科准教授)	北米先住民作家と<核文学>: アポカリプスからサバイバンスへ	2019年 5月	英宝社
監訳	下地早智子 (中国学科教授)	認知と中国語文法	2018年 12月	日中言語文 化出版社
単著	岩男考哲 (総合文化コー ス准教授)	引用形式を含む 文の諸相	2019年 5月	くろしお 出版

図書館 ～夏季休業期等の開館時間と休館日～**8月**

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

カレンダーの見方

市民利用可能日 土特	8:45-21:30 講義期間 (月曜-金曜)	8:00-16:30 休講期間	12:00-21:30 館内整理 (第1本館)	10:00-18:00 (土曜)	閉館日
---------------	-------------------------------	--------------------	-------------------------------	---------------------	-----

※8月19日(月曜)～8月27日(火曜)は蔵書点検期間のため
休館します。

※9月9日(月曜)以降は通常開館です。

夏期特別貸出

期間: 7月15日(月曜)～9月13日(金曜)

返却日: 9月27日(金曜)

* 院生は9月2日(月曜)以降の返却日は4週間後

■行事予定

8月	
8月3日(土曜) ～9月19日(木曜)	夏季休業
8月4日(日曜)	オープンキャンパス2019
8月5日(月曜) ～9日(金曜)	補講
8月5日(月曜) ～16日(金曜)	集中講義
8月18日(日曜)	オープンキャンパス2019
8月31日(土曜)	大学説明・個別相談会2019
9月	
9月2日(月曜) ～5日(木曜)予定	TOEFL iBT対策講座(事前申込必須)
9月3日(火曜) ～9月10日(火曜)	大学院修士課程(第1次募集)出願期間
9月9日(月曜) ～19日(木曜)	集中講義
9月14日(土曜)予定	IELTS団体受験(事前申込必須)
9月18日(水曜) ～12月27日(金曜)	成績発表(学内パソコンで閲覧可能)
9月18日(水曜) ～20日(金曜)	成績問い合わせ
9月20日(金曜)	後期授業開始
9月25日(水曜)	オーストラリア留学説明会(XL Education)
10月	
10月7日(月曜) ～11日(金曜)予定	古着で海外支援
10月9日(水曜)	コース説明会(1年生対象)
10月12日(土曜)	大学院修士課程(第1次募集)入試 ※学内立入禁止
10月16日(水曜)	アメリカ・インスティテュート春季短期派遣留学 募集説明会(オーストラリア/ウィーン) ※現地のプログラム担当ディレクター Hermann Weissgärber博士来日予定。
10月19日(土曜)・ 20日(日曜)	AO入試 ※学内立入禁止
10月25日(金曜)	外大祭準備(休講)
10月26日(土曜)・ 27日(日曜)	外大祭
10月30日(水曜)	2020年度募集大学院説明会
10月31日(木曜)	博士論文執筆許可申請書提出締切



夏季休暇にむけて、 さまざまなことに注意をしましょう。

①海外渡航届

長期休暇等を利用して短期間海外に行く場合は、「海外渡航届」を提出してください。学生の安否確認や、海外に渡航している状況を把握するために利用します。

また、外務省がホームページ等で公表している「国・地域別情報」（危機情報、スポット情報、安全対策基礎データ）を参照するなど、日々、世界及び地域の情勢についての情報を収集してください。なお、外務省海外登録「たびレジ」に登録することで、在外公館などから緊急時情報を得られるようになります。「海外渡航届」は、学生支援班、国際交流センター、ボランティアコーナー、大学院班にあります。

②住所等の届出について

緊急連絡が必要な場合に連絡が取れないケースがありますので、住所・携帯番号・メールアドレス等に変更があった場合は必ずすぐに届け出てください。

- 入学時に住所が決まっておらず、届け出をしていない場合
- 休学などで、住所・電話番号が変更になっている場合
- 保証人や実家の住所等が変更になった場合
- 携帯番号を変更した場合

③バイク・自動車・自転車通学者の注意

毎年何件か交通事故の報告を受けています。日頃から交通ルールの順守を心掛けていますが、交通事故は自分だけでは防ぎきれないこともありますので、運転には十分気をつけてください。

また、車を運転するときは「飲んだら乗るな、飲むなら乗るな」と、強い意志を持ってください。運転する可能性のある人には、絶対にお酒を飲ませないでください。バイク（自動二輪車・原動機付自転車）・自動車での通学には届け出が必要です。毎年必ず届け出てください。

兵庫県では、2015年10月より自転車の保険加入が義務となりました。未加入の学生は、保険に加入してください。

④薬物乱用の防止

危険ドラッグ・大麻などの薬物の使用・所持で逮捕される報道が相次いでいます。20代を中心とする若年層への拡大が特に顕著となっており、本学の皆さんの身近にも起こり得る可能性があります。

危険ドラッグ・大麻など禁止薬物の所持、使用、販売などの行為は重大な犯罪であり、絶対に行ってはなりません。特に、海外では所持だけでも死刑などの厳罰を科す国もあり、海外に行くことの多い本学の皆さんも、知らないうちに運び屋にされるなど、犯罪行為に巻き込まれ、一生を台無しにする危険もあります。好奇心で手を出したりすることのないよう、くれぐれも良識ある行動を取るよう留意してください。

薬物乱用防止「ダメ・ゼッタイ。」ホームページ

<http://www.dapc.or.jp/>

⑤未成年者の飲酒厳禁及び 急性アルコール中毒等に注意

クラブ・サークルやクラス会等で、アルコールが出される機会もあるかと思いますが、飲酒に当たっては、法令を順守し、未成年者の飲酒や他学生に飲酒を強要するような事がないようにしてください。また、イッキ飲み等の危ない飲酒は急性アルコール中毒を引き起こし、最悪の場合死亡に至るケースもあります。十分に注意してください。

⑥ソーシャルメディア利用上の注意

近頃、サイバー攻撃・ウイルス感染等による個人情報の漏えいが他大学で多発しています。一人一人が危機感を持ち、対策を行うことが大切です。

ソーシャルメディア（Instagram、Twitter、LINE、Facebook、YouTube等）を利用する際は、下記の点に注意してください。

1. 大学の一員としての責任

神戸市外国語大学の学生として、良識ある判断に基づいた発言を心がけ、発信した内容に責任を持ってください。

2. 他者の尊重

インターネット上のコミュニケーションであっても他者に敬意を払い、特定の個人・団体への誹謗中傷、差別的な発言、わいせつな発言は行わないでください。

3. 正確性

正確な情報を伝えるように心がけ、伝聞や推測に基づく不確かな情報発信は控えてください。

4. 法令遵守

著作権や肖像権などの法令等を順守するとともに、プライバシーや個人情報に関わる内容が含まれていないか確認してください。

5. 発信した情報は取り消せない

一度公開された情報は、削除しても第三者において保存・アーカイブ化され、インターネット上で完全に削除できません。発信内容には十分注意してください。

6. 個人情報公開の危険性

個人情報を登録・公開する際には、個人を特定できる情報はできるだけ非公開にするなど、プライバシー保護に配慮してください。GPS機能のついたデジカメやスマートフォンで撮影した写真には自動的に位置情報が含まれる場合があり、意図せず自分の居場所が他者に特定される危険性があります。

7. パスワードの管理とウイルス対策の徹底

容易に推測できるパスワードを使用しないでください。他者にIDとパスワードを教えるともいけません。ウイルス感染を防ぐためにスマートフォンやパソコンにはウイルス対策ソフトをインストールして常に最新の状態にしてください。

8. 怪しい投稿のリンクに注意する

身元不明な送信者からのメッセージ内に含まれるリンクは、フィッシング詐欺、フィッシング詐欺などのサイトに誘導される危険性があります。安易にクリックしないでください。

①～⑤問い合わせ先

学生支援・教育グループ 学生支援班

電話：078-794-8131

E-mail: gakusei@office.kobe-cufs.ac.jp

⑥問い合わせ先

経営企画グループ 情報メディア班

電話：078-794-8165

E-mail: im-support@office.kobe-cufs.ac.jp